

県内外の大学生 地域の課題探る

県内外の大学生が各地で地域の魅力や課題を
探る活動に取り組んだ。

住民の防災意識

高める工夫提案

徳島文理大生

阿南市と

阿南市
地域活性化

に向けた連携協定を結ぶ徳島文理大の学生が那賀川町出島地区で地域の課題解決に取り組むフィールドワークを行った。

統合政策学部の3年生8人が参加。市指定緊急避難場所のコート

・ベール徳島ゴルフクラブ、市科学センターなど6カ所を訪れ、住民から避難訓練への参加者が少ない現状などを聞いた。

市役所であった意見交換会では、岩浅嘉仁市長らに成果を報告。防災意識を高める工夫として「落語で防災学習」「避難経路を巡る健康ウォーキング」など、住民が楽しく取り組める試みを提案した。市科学センターの利用促進では「恋人の聖地」として男女のプロポーズの演出に活用する案などが出された。

学生は年内にも出島地区の住民に課題解決策を提案する。山本真也さん(21)は「もっと内容を精査して良いものに仕上げたい」と話した。
(南志郎)

地域の課題解決策について阿南市に報告する
徳島文理大生＝市役所

